フローリングのご使用とメンテナンス

対象商品　無塗装品及び通常塗装品、床暖房対応塗装品

1.使用上の注意点

〈無塗装及び通常塗装品〉

●人の出入りが多い場所では、砂ホコリによって塗装面に傷つくことがあり、このキズにより、塗装面が取れやすくなる場合があります。必ずマット等をご使用し、砂ホコリが入らないようにして下さい。砂ホコリが入った場合は、速やかに掃除機などでゴミやホコリを除去した後、可能な限り乾いたやわらかい布やモップでの乾拭きでお願いします。汚れがとりにくい場合は堅く絞った雑巾でふき取って下さい。

●無垢フローリングは水分を嫌います。水をこぼしたり、雨の日などで水がかかった場合は直ちに乾いた布で乾拭きして下さい。水に濡れたまま放置することでシミや変色だけでなく、かびの発生やフローリングの膨張による膨れや反りの原因となります。

●キャスター付の台車や椅子・テーブル等は表面材を損傷する恐れがありますので引き摺りなどによって傷を付けないよう充分気をつけて下さい。また、椅子やテーブルの脚部には市販のフェルト製クッション材を貼付けることで、キズやへこみ防止に役立ちます。

●暖房器具の熱風や直射日光は直接当たらないようにして下さい。天然木フローリングは直射日光の紫外線や照明器具等により変色することがあります。太陽光の直射はカーテンやブラインドで遮って下さい。置敷カーペットによっても色違いが目立つようになる場合があります。

●床暖房対応ではない無垢フローリング上で、ホットカーペットをご使用することはお避け下さい。表面の割れ、フローリングの縮みを引き起こす要因となります。

〈床暖房対応塗装品〉

●床暖房使用時にはフローリングの上にじゅうたんなどを敷かないで下さい。熱こもりによる色やけ等不都合が生じやすくなります。

●無垢フローリングは水分を嫌います。水をこぼしたら速やかに拭き取って下さい。

●床暖房とホットカーペットを同時に使用しないで下さい。

2.日常のお手入れ

●日ごろのお手入れは掃除機で清掃後、乾いたやわらかい布やモップでの乾拭きで充分です。汚れがとりにくい場合は堅く絞った雑巾でふき取って下さい。

3.ワックス掛け

●ワックス掛けを定期的に行なう事をおすすめします。定期的に同じワックスを掛けることでより汚れは落ち易くなります。周期は床の使用状況によって異なりますが、半年に1回、歩行度合いの激しい場所は2、3ヶ月に1回を目安にして下さい。

●ワックス掛けはウレタン・UV塗装品については樹脂ワックスを、自然塗料については各メーカー対応商品を御利用下さい。無垢フローリングは水分を嫌いますので、水性ワックスはご推奨致しておりません。油性ワックスは乾きが遅く、滑りやすくなる傾向がありますのでご注意下さい。

●クリーニングは掃除機などでゴミやホコリを除去した後、可能な限り乾いたやわらかい布やモップでの乾拭きでお願いします。汚れがとれにくい場合は堅く絞った雑巾でふき取って下さい。

●ワックスは使用説明書に従ってご使用下さい。特に撒き散らしてのワックス掛けは絶対におやめ下さい。